

海の事故情報（七管区） 【速報値】（3月7日～3月13日）

令和4年3月18日

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	3月9日（水）	福岡県	タンカー	運航不能
	3月9日（水）	長崎県	漁船	運航不能
	3月11日（金）	佐賀県	プレジャーボート	乗揚
	3月12日（土）	長崎県	プレジャーボート	運航不能

人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	3月7日（月）	山口県	マリレ以外の海浜事故	海中転落
	3月8日（火）	大分県	マリレに伴う海浜事故	海中転落
	3月8日（火）	佐賀県	マリレに伴う海浜事故	海中転落

その釣場から ボートを漕いで帰れますか？

【問合せ先】

第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 浦川
安全対策調整官 川部
Tel : 093-321-2931（内線2640）

【事件事例】

令和4年3月11日06:30頃、事故者1名は、釣りをするため、福岡県糸島市所在の海岸からミニボートで出港。沿岸部の浅を魚群探知機で魚影確認に気を取られながら航行中の09:00頃、船外機プロペラ付近から異音と共に強い衝撃を感じ速力が低下した。

自力航行を試みるも船外機は起動するがプロペラが空転し、航行できない状況であったことから、搭載していたオールで最寄りの陸岸向け航行を開始した。

しかし、風潮流の影響により自力で入港するのが困難と判断し、118番通報で救助を要請、水難救済会所属船により救助されたもの。

プロペラが空転した原因は、船外機が衝撃を受けた際に、プロペラシャフト破損防止のためにあるシャープピンが折損したものと推定されます。

【事故発生防止のポイント】

事故者は、船外機が使用不可になった場合に備え、オールを積んでいましたが、最寄りの陸岸から約1km離れていたため、自力で帰港することができませんでした。

⇒万が一に備え漕いで帰れる距離で楽しみましょう！

また、気象・海象の変化によって戻れなくなる場合がありますので、常に気象・海象情報を入手しましょう！

【トラブルシューティング】

船外機が起動するがプロペラが回転しない場合、シャープピンの折損が原因と考えられます。

⇒自身が使用する船外機の取扱説明書を確認し、軽易な故障であれば対応できるようにしましょう！

シャープピンの交換方法

シャープピンとは…
プロペラが岩やクイなどの障害物に当たったときに、プロペラ及び船外機

- 1 割ピンを抜き、プロペラを外します。
- 2 折れたシャープピンを抜き破片が残らないようにしてから、新しいシャープピンと交換します。
- 3 交換後、シャープピンの向きに合わせて、プロペラを取付けて、割ピンを新しいものと交換し、必ず図のように曲



メーカー取扱説明書より引用

その他のトラブルシューティングについては、右の二次元コードから確認することができます。

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/nfo/marinesafety/jikotaisaku/PDF/safety.pdf>

